

課題名	人工膝関節置換術後の歩行自立獲得に関わる術前因子の検討
承認番号	2022-31 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 リハビリテーション部 氏名 加納 可奈子
研究期間	(西暦) 2022年 12月 ~ (西暦) 2023年 9月
研究の意義・目的	<p>人工膝関節置換術後の早期退院には早期の歩行能力獲得が必要です。しかし、術後の歩行能力獲得に難渋し、早期の歩行自立が困難となる患者さんがいらっしゃいます。また、患者さんの個別性に配慮した術後のプログラムを作成するために、術前の身体機能因子に着目することは重要であると考えます。</p> <p>そこで今回、歩行自立獲得期間に関わる術前因子を検討し、歩行自立遅延ハイリスク患者の把握と術前後の評価・介入について検証します。歩行自立獲得期間や術前因子は診療録から後ろ向きに調査し、統計解析にてそれぞれの関連について明らかにします。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	<p>2020年1月から2021年12月までに横浜市立みなと赤十字病院にて人工膝関節置換術を施行された患者さんを対象とし、診療録の記載をもとに後ろ向きに調査を実施します。調査項目は①患者基本評価項目(性別、年齢、BMI)、②術前身体機能(疼痛、術前の歩行距離、歩行補助具の有無、両側膝関節屈曲・伸展可動域、両側等尺性膝関節伸展筋力、歩行テスト(timed up and go test、10m歩行速度))、③観察項目(歩行自立期間、入院期間)を抽出します。そして統計解析を用いて①、②と歩行自立期間との関連性を検討します。</p>
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供される場合はその方法を含む)	<p>当研究では、診療録の記載を基に後ろ向きに調査を行います。そのため、患者が特定されないよう患者個人情報を消去して匿名化し管理を行います。また、データから個人が特定できる情報は削除し研究用の番号を付けて管理します。研究用の番号と患者さんを紐付ける表として対応表を作成し、データとは別に保管します。対応表の管理責任者を研究責任者である加納可奈子とします。院外へデータを持ち出す場合は、規定に従い許可を得て電子媒体にパスワードをかけ保存して持ち出します。抽出したデータは本研究のみで使用し、他の目的には使用しません。</p>
利用又は提供する 試料・情報の項目	<p>当院の診療記録の記載。①患者基本評価項目、②術前身体機能(疼痛、歩行距離、両膝関節屈曲・伸展可動域、両側等尺性膝関節伸展筋力、歩行テスト(timed up and go test、10m歩行速度))、③歩行自立期間、入院期間</p>
試料・情報を 利用する者の範囲	<p>横浜市立みなと赤十字病院 リハビリテーション部 加納 可奈子 / 西山 未南 / 藏合 勇斗</p>
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	<p>横浜市立みなと赤十字病院 所属 リハビリテーション部 氏名 加納 可奈子</p>
問い合わせ先	<p>当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 リハビリテーション部 氏名 加納 可奈子 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101</p>